eco&eco
エコロジー&エコノミー

Sneak77ⅡL

スニーク77/2L

リチウムバッテリー搭載タイプ

取扱い説明書

Ver 1.1

安全にお使いいただくため
必ずはじめにお読みください

販売会社

製造元
株式会社アクセス
〒400-0048 山梨県甲府市貢川本町5-15
お問合せは
フリーダイヤル.0800-800-5224
平日9：00～18：00までにお問合せください。

ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
取扱いを誤ると事故や故障の原因となります。
この取扱説明書をよくお読みいただいて、
いつまでも安全・快適にご使用ください。

・この取扱説明書の中で使用されている記号は、次のようになっています。

⚠ 注 意	取扱いを誤った場合、死亡または重大な傷害を生じる可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 警 告	取扱いを誤った場合、傷害を負う可能性がある内容、または物的損害の発生が予想される内容を示しています。
! アドバイス	ご使用に際して守っていただきたいこと、および知っておくと便利なことを示しています。

・この取扱説明書は、よくお読みになった後も大切に保管してください。
・当製品をおゆずりになる場合、次に所有されるかたのためにこの取扱説明書をお渡しください。
・オプションパーツなど取り付けられた装備品などについては、装備品に添付されている取扱説明書をお読みください。
・仕様などの変更により、この取扱説明書の内容やイラストと実際の車輌が一致しない場合があります。
あらかじめご了承ください。

必 読　必ずお読み下さい

・運転の前に

注意事項を守り、安全運転を心がけてください。

○Sneak77ⅡL（スニーク77/2L）は、第２種原動機付自転車として設計されています。
ナンバーを取得し自賠責保険に加入する事で、公道を走行出来ます。公道で走行する場合、小型自動２輪の運転免許証が必要です。

⚠ 注　意

・Sneak77ⅡLを運転するには、道路交通法では小型自動２輪の運転免許が必要になります。原付スクーターまたは小型自動２輪としての交通ルールやマナーを守ってください。
・運転の際には必ず前照灯をONにしてください。
・交差点等で進路を変更する場合は、徐行して安全を確認してから進路変更をしてください。
・車道を走行してください。センターラインがないところでは、対向車に注意してください。
・混雑している場所や、人通りの多い場所での走行は避けるようにしてください。
・飲酒時や過労時は、運転しないでください。
・夜間運転はできるかぎり避けてください。
・道路標識や信号を守ってください。

・運転の前に

○まずは運転に慣れましょう。

アドバイス

・運転に慣れるまでは、交通の少ない安全な広い場所で練習し、発進、停止、旋回などの感覚をつかんでください。
・慣れるまでは、アクセルグリップを控えめに回し「低速」状態で練習してください。
・公園など公共の場で練習する場合には、その場所のルールを守り、周りの人や物にぶつからないように注意してください。

○はじめて道路に出る時は。

注 意

・十分な練習後、はじめて道路に出るときは、朝晩の混雑時間を避けて交通量の少ない時間に走行してください。

必 読　必ずお読み下さい

・運転の前に

〇当車輌は二人乗りです。

⚠ 警 告

・ Sneak77ⅡLは２人乗り可能な車輌です。
・遊具等として使用しないでください。

〇荷物のけん引はしないでください。

⚠ 注 意

・荷物のけん引はできません。予期せぬ事故、故障、破損の原因となります。
・使用者最大体重は運転者の体重と積載物を合わせて130 kgです。この重量を超えて使用しないでください。
・リアの荷台の積載限度は５kgです。積載限度を超えての使用は破損の原因となります。

・運転の前に

○日常点検・定期点検をしっかりしましょう。

⚠ 注 意

・走行する前には、毎回必ず日常点検を行いましょう。走行中の予期せぬトラブルを回避する為の大切な作業です。
（別載 6.ﾓｰﾀｰとｺﾝﾄﾛｰﾗ・機械のﾒﾝﾃﾅﾝｽ参照）
・定期的にモーター駆動部やバッテリー部など日常点検では目の届きにくい部分もしっかり点検・整備を行いましょう。
（詳しくは販売店にご相談ください。）

○携帯電話の使用について。

⚠ 注 意

・走行中は、携帯電話などを使用しないでください。使用する時は、安全な場所に停止し、車輌本体電源スイッチを切ってください。

・運転時の注意

〇次のような場所での運転はやめましょう。

⚠ 注 意

・次のような場所や状況では、転倒や故障の原因となりますので、走行を避けてください。
〔砂利道・ぬかるんだ道・雪道・凍結した道
水たまり・夜間・降雨・降雪・濃霧
強風時・凸凹の激しい道など〕
・次のような場所や状況では、接触や衝突の恐れがありますので、走行を避け安全確認や脱輪予防をしてください。
〔混雑している場所・交通量の多い道路
横断歩道・狭い道・防護柵のない側溝や路肩付近・踏切・電車や乗り物に乗るときなど〕

⚠ 警 告

・脱輪などで動けなくなった場合には、アクセル操作による脱出は行なわず周囲にいる人の助けを借りて脱出してください。
無理にアクセル操作をすると、事故、故障の原因になります。

・使用上の注意

○バッテリーについて

⚠ 注 意

・バッテリーの周囲温度が－10℃以下、または40℃以上で走行や保管をしないでください。また、バッテリーの周囲温度が0℃以上から30℃以下で充電してください。これらの温度範囲外では、凍結や過熱をおこし、破損や変形、早期劣化の原因となります。

○修理・改造について

⚠ 注 意

・修理や改造が必要な場合は、購入店または代理店にご相談ください。不適切な改造は安全性が低下して、事故や故障の原因となります また、改造した場合は保証が得られない場合があります。

○純正部品について

・交換、修理などのに際の部品交換時は、メーカー純正部品を使用してください。

! アドバイス

・部品の購入、交換は購入店または販売代理店にご相談ください。

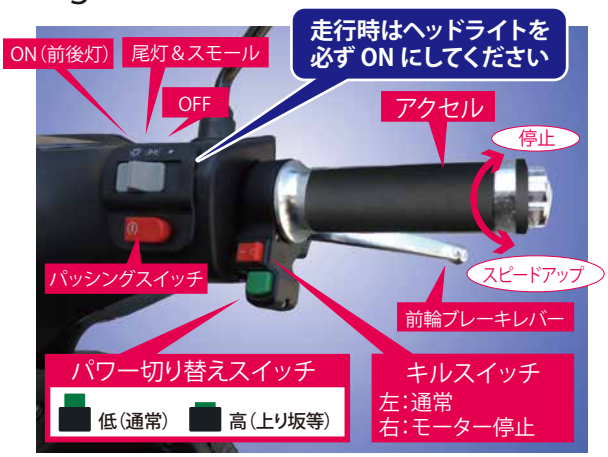
1.各部の説明

Fig1:メーターパネル

Fig2:メインキー

Fig3:左ハンドル周り

Fig4:右ハンドル周り



・パワー切り替えスイッチ
　低(通常走行時):手前に出た状態
　高(上り坂等で使用):押し込まれた状態

Fig5:前輪タイヤ周り

Fig6:メインスイッチ(ヘルメットボックス)

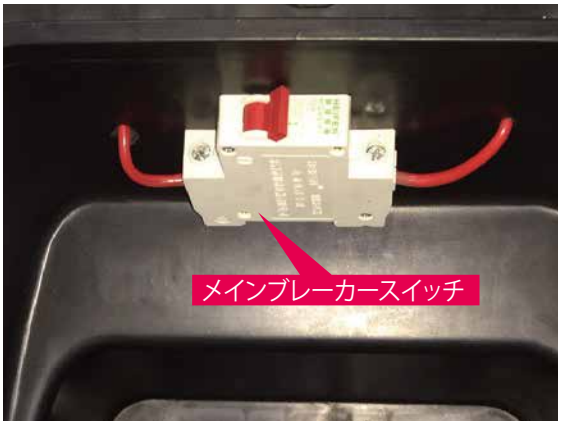
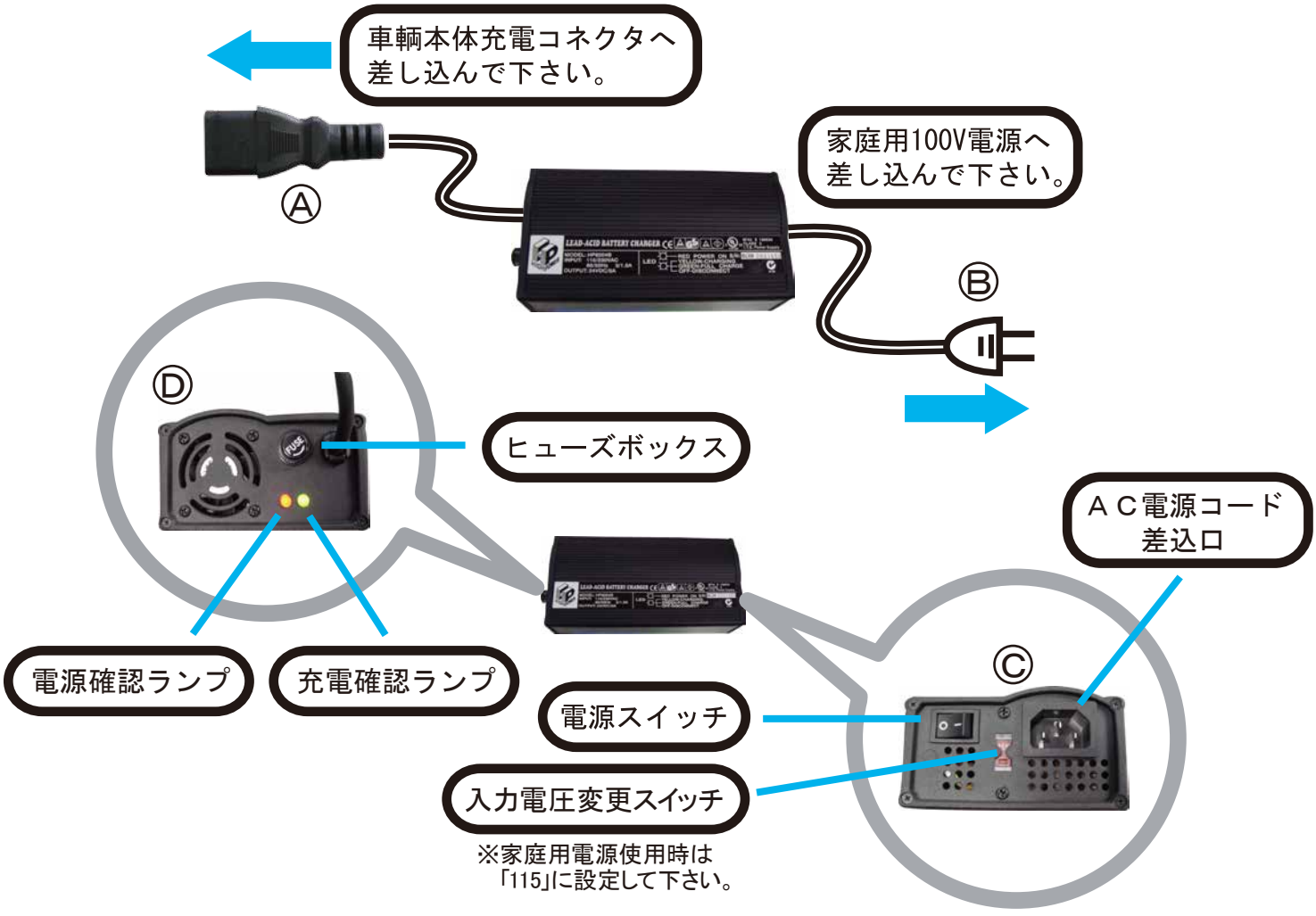


Fig7:充電ソケット

Fig8:後輪周り

取り扱い方法

・充電方法



① メインブレーカースイッチを”ON”にしてください。
② Cの電源スイッチが”OFF”になっていることを確認してください。
③ Aの充電コネクタを車輌側充電コネクタへしっかりと差し込みます。
④ 家庭用電源にBのコンセントをしっかりと差し込みます。
⑤ Cの電源スイッチを”ON”にすると、Dの電源確認ランプの色が”赤”に点灯します。
⑥ 充電中は、Dの充電確認ランプが”赤”色に点灯し、充電が完了すると、”緑”色に変化します。
⑦ 充電が完了したら、Cの電源スイッチを”OFF”にしてください。
⑧ A、Bの各コネクタを外してください。

1. はじめに

当社で輸入販売している電動スクーターは、ヘッドライト、ブレーキ、フレーム、充電器などを日本の道路運行車両法・道路交通法・電気用品安全法に適合または準拠するための設計変更を行い日本向けに中国国内にて製造し、日本国内で最終調整と走行テストを行いＪＩＳの品質管理基準により検査後出荷されます。なおバッテリーは、鉛シリコンバッテリー・リチウム酸化マンガンバッテリーの２種類を用意しており、ご購入時にご選択いただけます。バッテリーごとに容量・寒冷地での性能などに違いがあります。機体ご購入後に、バッテリーのみ交換することも可能です。フレームについても充分な強度が得られるよう肉厚の材料を使用しています。

2. バッテリーの取り扱い

・スニーク77ⅡLのリチウムバッテリーは鉛シリコンバッテリーに比べて軽量で、寒冷地でのパワー不足が極めて少なく、充電回数も通常１０００回以上の再充電が可能です。

・充電は、専用充電器以外使用しないで下さい。※特にリチウム電池は、専用以外の物を使用した場合、爆発の恐れがあります。

・充電の際は感電事故を防ぐために先に、車両側のプラグを差し込んでから、電源ケーブルを単相１００Ｖ(50/60Ｈｚ）の家庭用コンセントに差し込んで充電して下さい。

・満充電の状態で高温の場所に保管すると劣化が進みます。

・バッテリー残量５０％位で１５℃～２５℃の場所で保管するよう心がけて下さい。

・バッテリー残量２０％以下の状態で長期間保管しないで下さい。

・充電を行なう場合は、涼しい場所で行なって下さい。

・長期保管中に適切な充電残量で保管しても内部放電によりバッテリーを劣化させる為、３０日に一度はバッテリーの残量を確認して必要であれば10分～20分程度充電して下さい。

・使用する場合は、満充電の状態にしてから走行してください。

・車両から離れる場合は、事故防止のためにキーをＯＦＦにするだけでなくメインスイッチ（ブレーカー)をＯＦＦにする事を心がけるようにして下さい。ＯＮのままだとコントローラーに微弱電流が流れている状態ですのでバッテリーが消耗します。

・バッテリー残圧が４０Ｖ以下になると専用充電器は、バッテリーの故障と判断して充電が出来なくなります。その場合は販売店等に依頼して下さい。リリウムバッテリーは一般の充電器で無理な充電をした場合バッテリーを損傷したり発火や爆発などの事故の恐れがあります。

３.乗る前の準備と操作の順序

・タイヤには充分(2.5BAR)に空気を入れて下さい。タイヤの空気圧が低いと摩擦抵抗が大きくなるため走行距離が短くなり、バッテリーも劣化しやすくなります。
・バッテリーは本取り扱い説明書に書いた方法にしたがって、充分に充電を行なって下さい。走行の距離だけではなく、バッテリーの寿命にも大きな影響を与えます。
・メインブレーカースイッチ（Ｆｉｇ６）をONにした後、キーを回してONの位置にして下さい。メーターの表示板にバッテリーの充電状況（状態）を示す表示が有ります。４２Ｖ以下になるとアクセルを回してもモーターが回りません。これは故障では有りませんので、直ちに充電してください。
・使用後は直ちにバッテリーの充電をしてください。（途中充電可能です）
・ハンドルを握って右手のアクセル（Ｆｉｇ４）を回すと走行します。タイヤがスムーズに回る事を確認して下さい。モーター異音がしないことを確認して下さい。アクセルを戻すと、自動的にモーターへの出力が切れます。
・前輪、後輪のハンドブレーキを掛けるとモータの電気回路が切れます。走行中に同時にあるいはどちらかのブレーキをかけるとモーターの電源が切れます。この時アクセルを回して、モーターが起動しなければブレーキによる電気回路の遮断機能は正常です。
・走行時には、アクセルを適切だと思うスピードまで回して下さい。ブレーキをかける時には、アクセルも同時に戻して下さい。ゆっくり発進するとバッテリーの消費が少なくてすみます。
・バッテリーの消耗を防ぐためだけでなく、防犯のためにも走行後はメインキーをOFFにし、メインブレーカースイッチもOFFにし、ハンドルロックの位置までキーを回して抜いて下さい。

アドバイス

・バッテリー残量メーターはあくまでも目安です。ご使用後は距離に拘らず毎回満充電状態にしておきましょう。
・バッテリーの減りが早くなってきましたら、バッテリー交換の時期です。購入店にお問い合わせください。

４.走行

・パワー切替スイッチを「高」のまま長時間連続して走行するとバッテリーの劣化が早くなります。加速時及び登坂時以外は、使用を控えてください。

・スニーク77ⅡLは、電動スクーターですので、キー操作をＯＮにすると走行可能な状態になります。事故防止のためキーＯＮの状態での引き回しは、絶対ににしないで下さい。

（スニーク77ⅡLは、パワー切替スイッチ（ＦＩＧ４）を切り替えることにより、パワーの調節が可能です）

・下り坂を走行する場合は、アクセルグリップを一杯に戻した状態でブレーキレバーを軽く引くと回生ブレーキが機能し減速できます。停止する場合は、前後輪のブレーキレバーを握って適切な制動を行い停止して下さい。

５. 主な電気部品の機能

・ブラシレスモーター組込ホイル（Ｆｉｇ８）：高性能の希土類永久磁性材料を使っている外部の回転子からホイルを通してタイヤに駆動を伝えます。モーターとホイルは一体になっていて、モーター組込ホイルはシフトチェンジギヤを使わない構造になっているので、高効率、長寿命、低騒音などの特徴があります。

・コントロール装置とメーターは最新の電子回路技術を使っていて、各電装部品のコントロールセンターとなっています。このコントローラーはモーターの発電、バッテリーの電圧降下保護、過電流保護、ブレーキ操作時の電源ＯＦＦ、スムーズな調速機能などがあります。電子式のアクセルを使っているので、スムーズなスピード調整を行うことができます。

・バッテリーは本電動スクーター専用のバッテリーを使っています。またこのバッテリーは多くの日本向けバッテリーを設計した技術により作られているので、体積が小さく軽量で、衝撃に強いなどの特徴があります。さらに３００回以上繰り返し充電（使用状況により増減します）に耐えられます。

６. 充電方法

・初めて走行する際は（メインスイッチを入れた後）、充分に充電されているかどうか電圧メーターを確認して下さい。充分に充電されていなかったら、充分に充電してから走行を始めてください。

・充電器は弊社のセットした、あるいは指定（４８Vバッテリー３Ａの過充電防止機能付）した充電器を使って下さい。バッテリーと充電器が合わないと火災や故障を起こす場合があります。

・使用する前にコンセントの電圧に合わせて充電器の電圧を１１５V／２３０Vのどちらかに切り替えて下さい。

・バッテリーは、充電コンセント（Ｆｉｇ７）をスクーターにつけて充電して下さい。バッテリーをスクーターから取り外して充電することも可能です。

・充電する際には、充電器の電源スイッチをOFFにし、充電コネクタを車両側充電ソケットと家庭用電源にしっかりと差し込み、充電器の電源をONにします。充電確認ランプの色がオレンジから緑になると充電完了です。
・充電が終わったら、電源側のコンセントを抜いてから、バッテリー側のコンセントを抜いて下さい。充電する際、充電器のLEDは電源が入ってから数秒後につきます。充電終了後は、電源が切れてから数秒後に消えます。
・バッテリーは使用後、すぐに充電してください。充分に充電されていない状況で使用するとバッテリーの寿命に大きく影響を与えます。またバッテリーは逆さや横向きにしないで下さい。充電器は電気製品なので、乾燥している所、風通しのよい所に保管して下さい。また、充電する時には熱の発散ができなくなるので、充電器の上に物を置いたりヘルメットボックスに入れたりしないで下さい。
・充電しないときには長時間充電器をコンセントに挿した状態で置かないで下さい。充電器の寿命と火災の原因になります。

６．モーターとコントローラー・機械のメンテナンス

・モーターとコントローラーは電動スクーターの重要な部品なので、急な坂道を連続して走行したりしないで下さい。
・走行時に、頻繁にブレーキをかけたり、発進させたりするとスクーターの総走行距離に影響するので、ブレーキをかける際には、アクセルをできるだけ前方で戻してモータの回生ブレーキを利用してから停止して下さい。
・乗車前に、タイヤの空気が十分に入っているかどうかを確認してから乗って下さい。また、ハンドルの方向はどうか、ブレーキレバーを握ってブレーキが効いているか、ブレーキランプは点灯するか、メータパネルのバッテリー電圧は充分に有るか、を確認してから乗車して下さい。
・平らでない場所や、急勾配の坂を上る際には途中休憩してバッテリーを休ませて下さい。
・電動スクーターの積載重量は１３０Ｋｇなので、重すぎる荷物は乗せないで下さい。モーターや、コントロール装置とバッテリーの寿命に影響を与えます。
・電動スクーターは耐候性能を持っていますが、長時間、直射日光や雨　にさらさないようにしてください。
・梅雨時は特にモーターとコントロール装置に水が入らないよう気をつけて下さい。
・通気性の悪い布などで、コントロール装置を包まないで下さい。コントロール装置の放熱に影響を与える可能性があります。

８．維持とケア

・前後の車軸、ハンドルなど動く部品には特に注意を払い、潤滑油を塗ったりとすることで長期間ベストコンディションでご利用いただけます。
・前後のブレーキが効いているかどうかを常に確認して下さい。また、他の操作する部品もきちんと使えているかどうかを確認してください。タイヤの空気も充分であるか確認してください。
・解決できない問題が起きた場合には、専門技術者に修理をしてもらってください。むやみに自分で解体しないで下さい。

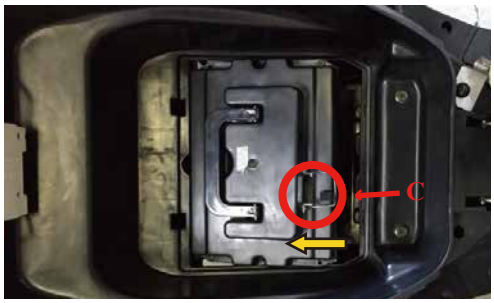
備考

一般的な故障現象の原因と解決方法

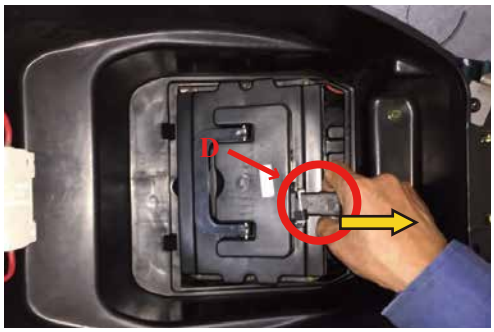
故障の現象	故障の原因	解決方法
充電器が充電できない。	電源LEDが点灯しない。	電源を接続する。
	充電器のコンセントと電源のコンセントの接触が悪い。	コンセントしっかり挿して下さい。
	ヒューズが切れている。	ヒューズを新しいものに替えて下さい。
一回の充電で走行距離が少ない。	道路の状況が悪い、積載量が多すぎる、坂道が多い、気温が低い、頻繁にブレーキをかける。	
	タイヤの気圧が低すぎる。	充分に空気を入れて下さい。(2.5K～3.0K)
	充電が十分でない。	充分に充電して下さい。
アクセルを回しても、モーターが起動しない、速度が遅すぎる。	メインブレーカーがＯＦＦになっている。	座席シートを開けてメインブレーカーをＯＮにして下さい。
	ヒューズが切れている。	ヒューズを交換して下さい。
	回路を切るブレーキが元の位置に戻っていない。	ブレーキのワイヤーを調整しブレーキレバーを元の位置に戻して下さい。
	バッテリーの電圧が低すぎる。	十分に充電して下さい。
	サイドスタンドが出ている。	サイドスタンドを元の位置に戻す。
その他の故障	故障の原因がわからず、解決できなかったり、配線等内部が損傷している場合。	専門技術者（自動車整備士）に修理を依頼して下さい。

Sneak77　バッテリー取り外し方法

① A（ブレーカー）をOFFにします。
② Bを黄色の矢印の方向に押し蓋を開けます。



③ Cの部分を黄色の矢印の方向に持ち上げ、
ケーブルロックを外します。



④ C（バッテリーのケーブル）をはずします。

⑤バッテリーを取り外します。

⑥バッテリーと充電器を直接つなぎ、充電します。